

# まんさく

第323号

社会福祉法人 光寿会  
まんさく編集委員会  
和賀郡西和賀町湯本30-76-1  
TEL 0197-84-2526  
題字 元理事長 太田祖電



## オセンさ、買い物に行ってきたあ〜す♡ ~令和8年3月29日~

まだ肌寒い3月末のある日、スーパーオセンにお買い物に出掛けてきました♪店内では知り合いの方々から声を掛けられて気分も高揚♡ 改めて、今までの日常の延長線上に光寿苑(暮らし)があるのですね。

### 323号『まんさく』もくじ

☆2頁★

\*令和8年度光寿会事業計画

☆3頁★

\*災害を捉える

☆4頁★

\*地域密着型事業

☆5頁★

\*震災を偲ぶ彼岸会      \*夜間防災訓練

\*お年寄りを護る会拝聴結果

\*寄贈・面会・外出・ボランティア紹介

☆6頁★

\*「光寿会の日々」(4コマ漫画)

\*「自然法爾」(おきさんのお話)

\*「おわりに」

令和 8 年 4 月 1 日

## 令和 8 年度 『光寿会事業計画』

### ① お年寄りの声に対して、より効果的に対応します。(継続)

お年寄りの声を大切にする事が法人目的に繋がる。『上司不在で決められない』ではなく、お年寄りにとって良い事であれば、その場にいる職員で判断し実行できる事を実践したい。事後報告は必須とし、見直しも忘れずに！

**【利用者本意の目的を尊び、素早く実行するための効果】**

### ② 経営感覚を持って地域ニーズに応えます。(継続・修正)

光寿苑短期入居事業は引続き受入れ体制を整え、経営安定化を図る。入居空きベッドも最小限に抑え、災害や感染症発生時の迅速な復旧を目指す。地域密着型サービスひなたぼっこは通い利用者増により、経営の独立を図る。

**【お財布事情も把握しながら、みんなで地域を支える効果】**

### ③ お年寄りの意思決定・推定支援に取り組みます。(継続)

お年寄りご本人による『受容と納得をした上での意思決定』が施されているかどうか。未だ、最期の時についての意思決定は不十分な現状。ご本人とご家族の声に耳を寄せながら、意思の決定・推定の支援を進めていく。

**【今の暮らしから最期の時まで見通したケアの構築効果】**

### ④ お年寄りの ADL の維持と喜びを引き出します。(新規)

看護師 6 人体制の現況を活かし、介護業務サポートの継続と共に機能訓練に着手する。加算取得に向け、関係書類と専任職員の配置等準備を整えた上で、夏以降、本格的に開始予定。自分の事は自分でできる喜びを目指して。

**【自分の事は自分でできるあたり前の喜びを得られる効果】**

### ⑤ 行政・他の社福法人と共に将来設計を整えます。(追加)

人口減や介護報酬の低改定、物価高騰等の課題に対し、行政とやすらぎ会と共に知恵を出し合い、法人合併・事業統合に向け、本格的に着手に入る年。西和賀のこれからの福祉像と将来設計を組み立てたい。

**【町全体の大きな課題として関係機関が協働で取組む効果】**

# 想

## 災害を捉える 石川県七尾市から発信⑬

### 『能登から被災地だより⑬』竹原了珠 氏



「墓じまいは、災害だけのせいではない」という言葉が刺さります。

桜が満開の京都へ、まだ夜が明け  
る前に「遺骨と共に車で向かいま  
した。『大谷祖廟』(東本願寺の飛地  
境内地の納骨施設)で、遠方へ転出  
しているご家族と合流し、納骨する  
ためです。能登では急速に墓じまい  
(改葬)が進んでいます。

地震と豪雨の被害に遭うのは、生  
きている人間だけではありません。  
遺骨と成っても被害に遭っています。墓  
被害はかなり広範囲に亘っていて、  
あちこちに白骨やむき出しになっ  
たまま一年以上経過している状況が  
ありました。真宗大谷派は簡便な応  
急処置(ブルーシートでラップピン  
グして白骨や雨風にさらされないよう  
にする)を進めてきました。より  
専門的な応急処置は「日本石材産業  
協会」という全国の墓石事業者が加  
盟している団体と連携して、乱れ飛  
んだ重い字石を元の墓石の前に安置  
したり、ブルーシートは劣化するの  
で墓石の一部を活用して白骨を守る  
作業を行って頂きました。

災害対応は、あらゆる作戦に降参  
や問題があります。お墓については、  
承継者不明の場合が多く、連絡がと  
れないケースがあります。さらに、  
墓地の管理責任者としての責務の意  
識が低く、土地を貸しているだけ

で、お墓の事は聞かない。勝手  
に触ると問題になるのではない。カ  
という返答が多かったです。墓地  
の管理者は、墓地の美観や参道の安  
全の確保に努める必要があります。  
白骨が露になっていたりお墓や、隣の  
墓石に倒れかかっている危険な状態、参  
道を妨げている字石。まだ余震が  
続く可能性があるので、字石を乗せ  
る承継者への注意勧告を含め、管理  
責任の社会的通念が理解されていな  
い事が一番大きな障壁でした。

また「修復ではなく応急処置？」  
という声も多かったのです。これは、  
地元業者を救う意図が多数にありま  
す(協会が墓石業界全体の振興を目  
的としているので)。地元には石材  
店があります。能登の場合、ほと  
んどが家族経営の小規模事業者のた  
め、何万基という墓石を迅速に修繕  
する事は不可能です。とは言え、  
果外の墓石業者が参入する事は、地  
元業者の警戒心を生み、業界内での  
軋轢を生む事になります。被災地が  
争いの場になってはいけません。

「修復ではなく応急処置」という  
方法は、上記の墓地の安全管理上で  
の判断もあります。多くは現地業  
者の警戒心を生ませないため、そし  
て、連携してお墓を守っていくこと

いう地元業者へのメッセージでもあ  
りました。  
これらの取組みの背景にあったの  
は、墓じまいに流れる危機感です。  
墓を通して繋ってきた縁が消える  
という寺院側の恐れと、墓離れが一気  
に進む事の墓石業界の恐れ。でも現  
実に墓じまいは災害以降、能登の人  
々の中に確実に検討すべき課題とし  
て迎え入れられたのです。その理由  
の一端が、今回の納骨で理解できた  
ような気がします。

納骨後、ご門徒から暗れ暗れとし  
た表情で、こう言っていました。か  
もしれません。正直な所、久々に親  
を思い出しながら感動しました。こ  
れで中々寝れます。と伝えら  
れました。災害前からお墓を承継し  
ている負担感を持っていた彼にとつ  
て、災害は墓じまいへと進む事がで  
きる動機として作用したのです。

承継者の負担から解放されたいと  
いう思いや、前述のように墓地の管  
理責任が認知されず、一定期間放置  
された事。また、墓石業者が能登の  
同業者を慮った結果、修復工事を請  
け負わず応急処置に止めた事。これ  
ら人間の意識が絡み合い墓じまいが  
進行しているのであり、災害だけの  
せいにする事はできないのです。

今月の登録者の方々  
12名様です♪



### いよいよ待ちに待った春到来♪…「ひなたぼっこの日常」



上2枚 ひなたぼっこのアフタヌーン♪

下2枚 お茶会『フェルトのマスコットづくり』

### 第6回「運営推進会議」(3月24日) 《委員9名、職員3名出席》

職①前回、外部評価で出された結果を報告致します。マ今回の改善計画は2点です。

①自己評価レでは、職員の研修参加ができていない状況が続いており、改善策として、外部研修や内部研修の資料を活用して、「読み合わせ方式」等を用いながら取り組むという改善計画となりました。

②防災・災害対策レについては、町の告知端末を活用した地域への通報訓練実施を計画していましたが、今年度未実施となりましたため、次年度は改めて計画・実施したいと思っております。

委①そうですね。日程を早い段階から確認して実施しましょう。宜しくお願ひします。

委②先日の上野々地区総会で、「ひなたぼっこ」内にAED設置しているレとの報告があり、大変心強く思っております。

職②我々も地域の一員と思っておりますので、使用しないのが一番ではあります。安心の為に、ぜひ、地区の皆様にもご周知下さい。

夜間防災訓練



3月9日



3月23日

震災を偲ぶ彼岸会

3月18日 お年寄りを護る会拝聴結果

〔相談員の〕

★入居して半年の方のお話を伺う。〆周りの言葉や分からず話がでない。もっとお話がしたい。〆と話されていました。ですや、横手のお城山や北上の二子城の話をして、とても喜ぶ話が弾みました。〆Sさんにとって懐かしいのキーワードでお話し下さったのが良かったと思います。〆リ誰かと話したい。〆という思いに添えて頂きました。

〔相談員②〕

★職員さんに話を聴きました。水分補給に何種類も飲物を準備していろとの事。アルコール希望したら出ますか？〆せご希望あれば勿論です。病気なければ(笑)。〆女掃除職女性体制と聞ききました。古い施設だが、キレイで素晴らしい。

おかげさまでした

寄贈

- ☆ 匿名希望の団体 様 [北上市]
- ☆ 羽柴 直志 様 [川尻]
- ☆ 高橋 智也 様 [埼玉県]



★=光寿苑 ☆=ひなたぼっこ、湖畔の宿

奉仕・訪問等

【3月7日・21日 機能訓練ボランティア】

★ 伊藤敦史 先生 [秋田県]

【3月9日 夜間防災訓練立会・指導】

★ 西和賀消防署署員 様 … 4名

【3月18日 お年寄りの拝聴ボランティア】

★ 光寿苑のお年寄りを護る会 様 … 3名

【3月2日・14日・28日 水槽メンテナンス】

☆ 石川 彰 様 [盛岡市]

【3月24日 ひなたぼっこ外部評価総括等】

☆ 運営推進会議外部委員 様 … 9名

面会・外出

〔3月1日～31日〕

【対面面会】

★ 延べ111名(対象入居者26名)

☆ 延べ18名(対象入居者3名)

【自宅外出・外泊】

★ 1名(外出) ★☆ 各1名(外泊)

光寿会へのご支援

# 光寿の日々 323号



赤くなり腫れていたのだ。

イラスト：1000

身体の不調時にお寺さん？と思うところだが、祈禱をすることで身を整えたいという気持ちなのかな？  
または除霊のようなことで不調箇所から何かを取り除こうというのか。  
結果的には薬や処方され解消？  
それにしても微笑んで(お)お話♡

## 思い切りがたきは 思愛のきずなせけり

### 小林一茶

### 第122回 丸田善明

### 自然法爾 (じねんほうに)

江戸時代の俳人・小林一茶が、晩年によく授けられた正月の祝い膳に始まって、その年の終わり、新年の餅を搗ぐ事までの一年を、俳句とエッセーで綴った一茶の主著『おらや春』。

夏を迎える頃、幼い子どもが「ほうりょう」に罹って七くなるといふところ。一茶と妻の悲嘆は、読む者に涙を絞らせる。

行く水のふたたが帰らず、  
散る花の梢にもどらぬ悔いごとなど、  
あきらめ顔しても、

思い切りがたきは思愛のきずなせけり。  
もう戻らぬかと分かつていなから思い切り

思愛の心が、先立った人忘れさせない。  
わが母は、5年前の女月10日に102歳で亡くなった。この日の朝、境内に開き始めた紅梅はうっすらと雪をまとい、梅はほのかに香りを辺りに運んでいた。思愛の絆を思う春である。

雪まとい梅の香の中 母還る

夢佛

### おわりに

何でこんなになりに...と歎くほど、社会的な役が重なり依頼される今年。断らな理由が分からぬ。理由は、お思いの方も多しと思う。理由は、多くの人が避ける事と、私が断れない性分だから。勿論、自分の能力的に不得手が過ぎるような案件は引き受ける事はない。飯に受けたら、その後の結果で依頼人に迷惑や後処理の負担は掛けてはならないから、受けない。よって、己の身の丈をわきまえた上で、お引受けしたいと思う。それにしても受け持ち過ぎなので、多くの力量ある方に代行して頂く術も磨いている半世紀おいちゃん。助けてを乞う事もまた、必要な術として。